

ドクター板東の メディカルリサーチ Vol.125

～五輪まで スポーツ医学で サポートを～

<http://pianomed-mr.jp/>

リオの五輪(2016)が近づきつつあり、その後は東京五輪(2020)へと続く。我が国では、日本オリンピック委員会(JOC)が日本体育協会から独立し(1989)、オリンピック関係性を担うこととなった。

一方、日本体育協会は国民スポーツの普及・振興、生涯スポーツの推進に力を注いでいる。中でも、国民体育大会(Japan Sports Festival)はわが国最大の国民スポーツの祭典だ。世界でも類を見ない大規模なものといえよう。

日本体育協会認定のスポーツドクターの私は、毎年中央での会議に参加し、講義を受けている。今回はスポーツの話題を提供させて頂きたい。

世界ラグビー

最近のビッグニュースといえば、世界ラグビーでの日本の活躍である。ちょうど、日本チームに帯同していたスポーツドクターから興味深い話を拝聴できたので、紹介しよう。

表1 脳震盪に関する調査(39選手/40試合)

- ・試合中に脳震盪と診断：17例
 - 9例：直ちに退場
 - 4例：試合後にも脳震盪あり
 - 4例：その後経過中脳震盪あり
- ・試合後の症状/ビデオで診断
 - 4選手(遅発性脳震盪)
- ・脳震盪と診断されなかった：18例
 - 試合中、後、経過中も正常
- ☆ビデオが試合中、後に影響あり21/39例
 - ビデオが診断後にも影響あり10/39例

表1

日本中が熱く燃えた最強のラグビー日本代表を育てた名将がエディー・ジョーンズ監督だ。彼はチャンスは一度しかない選手に強調(図1)。素晴らしい指導力や冷静な判断力に敬服してしまふ。

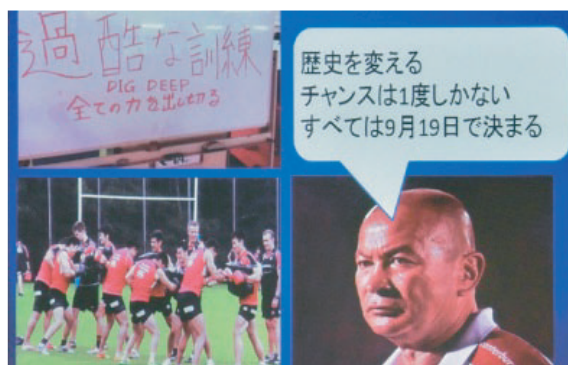


図1



図2

また、スポーツ医学の見地から、ビデオを活用した調査が発表された。今回2015ワールドカップラグビーで行われた40試合中、脳震盪疑いの39例の調査を示してみよう。

その結果を表1にまとめた。試合中にもドクターが迅速に診断し、必要ならすぐに退場させる。試合後も数日間経過観察するマニュアルがあり、各国の医師が待機し活動中だ。



図3

怪我した選手に担当医師が付き添って現場を離れた場合、代替となる医師(Immediate Care Doctor, ICD)が待機しておりカバリーを行う。驚いたことに、ICDを搭載した診断バスが会場で常駐し、医師がオーダーすればすぐに頭も関節の精査も可能である(図2、3)。

このように外傷の対応には二重三重のサポートがみられ、学ぶべきことは数多い。なお、2019年ワ

ワールドカップは日本で開催され、数年後の日本チームの活躍も楽しみとしたい。

驚くべき実態

昨年末、陸上の世界に衝撃が走った。ロシアによるドーピング問題である。かねてよりいろいろな噂があり懸念されていたが、今回数多くの証言や証拠が明らかとなった。

ドーピングについては、諸外国と日本との間で、認識に大きな差異がみられてきた。日本人には本来、武士道の精神や公的な奉仕の心が備わり、いろいろなスポーツで、どんな手段を使っても勝つというような



図4

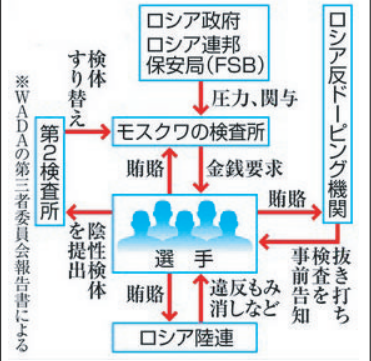


図6



図5

チ、組織から様々な事例が起こりうる。

我が国の展開

最近、我が国で重要視されているのが、「スポーツを通じて目指す良好な社会作り」といえる。これには様々なファクターが関わっており、基盤となる項目について、スポーツ基本計画の見地から図7に示した。

この中で、年齢や性別、障碍などを問わず、広く人々が関心や適性などに応じて各スポーツに参画できるス



図7

表2 見える体力・見えない体力

・見える体力
身体器官や組織の構造
身体の大きさ・筋力・神経伝導速度
総合的な動き～機能
・見えない体力
円滑な動きの質（スキル）
体温調節機能
ストレスに対する抵抗力
風邪や感染症に対する免疫力
意志・判断・意欲（動機づけ）

表2



図8

来、楽しみや遊びという意味だ。プレイフルネスという感覚を、今後若い世代にも感じてほしい（図8）。さらに、プレイを通じて体力の維持増進が重要となる。体力には、目に見えるものも、見えないものも存在する（表2）。広い概念で捉えてほしいと思う。

五輪への発展

我が国の知育・徳育・体育・（+食育）の内容は歴史的にもとても秀逸である。我々日本人は認識していないが、海外から見ると凄いレベルだ。

2016と2020年に五輪が開催される。スポーツドクターや日本体育協会、JOCなど、各立場からのサポートが重要となってくる。一方、我々一般人の役割は何だろうか？全国各地で各スポーツの現場が円滑に進むように理解、協力していくことだろう。

（板東浩、ばんどうひろし、医学博士、糖尿病専門医、ピアニスト）